

第3回は平岡地区町内会連合会 大橋（おおはし）会長のお話です。清田区誕生10周年を迎えるに当たり、区役所とともに区
のまちづくり活動を支えてきた町内会連合会の会長に、清田区の10年間、またはこれからの清田区について語っていただきます。



清田区上空から撮影(平岡公園)

「清い田から清田区へ」
アシリベツ川の流域に広がった、豊平以東の農村地域が丸ごと札幌市と合併し、さらに札幌市の東部開発プランにより農地が閑静な住宅街へと急速な変化を遂げ、平成九年人口約十万五千人の清田区が誕生しました。そして平成十九年四月には十一万三千人を越える人口を有し、札幌市の緑を代表する区として堂々たる誇りであり、一層の発展を祈念するものであります。

豊かな地域づくりを願って



平岡地区町内会連合会
会長 大橋 良一

ごみを制するための施策
平成十六年度、札幌市がごみ処理のために使ったお金は、なんと二百九十六億円で、一人当たりでは、一万六千円になるそうです。
平岡地区では、まちづくりセンターを核にごみ処理意識



防災訓練

「自主防災」を合言葉に、炎天下の中、本年八月十九日に平岡町連に加盟の二十五単町から総勢二百七十人が、防災の理論と実技を演習しました。倒壊家屋からの救出法、裂傷・骨折などの応急処置法、救急担架の作り方など実技指導を受け、演習に汗を流しました。
梅公園の
平岡「町連」では
防災訓練(第八回)



整備されたごみステーション

家にある日用品の新陳代謝による不用品、社会的有効利用の場面です。
ごみステーションの整備もごみ処理意識の高揚に一役買っています。ごみステーションの機能をきちんと整備し、堅牢なものに作り変えている地域も増えつつあります。



フリーマーケット(平岡まちづくりセンター)

を高揚させるため、いろいろな取り組みを実施してきました。フリーマーケットもその一つです。



ハーティマインド推進運動
アンド
(ごみダイエット&リサイクル)

そのほか、ハーティマインド(青少年健全育成活動)、キッズまつりなど地域に根差した活動をもって、清田区の一層の輝きのため努力を続けたいと考えております。



防犯パトロール腕章

平岡の子どもを守る会
(児童・生徒事故防止
合同対策協議会)
多発傾向にある犯罪を伴う児童・生徒の事故に対し、地域ぐるみで未然に防止する活動を推進することを目的に、児童の登下校時のパトロール、地域の大きな行事が行われる際などは、巡回グループを編成し、安全をキープするよう努力しています。

広告